

平成 18 年 9 月吉日
(社)日本橋梁建設協会
技術発表実行委員会

平成 18 年度 橋梁技術発表会 橋梁技術の最先端
(大阪地区)

日 時：平成 18 年 10 月 24 日(火) 13:00 ~ 17:10
場 所：建設交流館 8F グリーンホール
大阪市西区立売堀 2 - 1 - 2 (TEL 06-6543-2551)

司 会 広報小委員会

プログラム

開会の辞 橋梁技術発表会実行委員会 委員長 13:00 ~ 13:05

会長挨拶 社団法人日本橋梁建設協会 会長 伊藤 學 13:05 ~ 13:30

基調講演

これからの品質管理 13:30 ~ 14:10
西川 和廣 (国土交通省国土技術政策総合研究所
研究総務官兼総合技術政策研究センター長)

技術発表会 14:10 ~

1. 長大橋の合理的な構造形式 - ラチストラス橋(紀勢宮川橋) -
技術委員会設計小委員会
2. CFT 部材を使用した長大橋の架設技術報告 - 新西海橋の施工
技術委員会架設小委員会

休憩(15:30 ~ 15:45)

3. 保全工事の施工事例 - トラス橋の支承取替え工事
保全委員会保全技術小委員会
4. 海外工事報告 - カルキネス橋梁(米国:吊橋)の工事概要と紛争解決手法
企画委員会国際小委員会

閉会の辞 橋梁技術発表会実行委員会 副委員長 17:05 ~ 17:10

技術発表会講演内容の概要

1．長大橋の合理的な構造形式 - ラチストラス橋（紀勢宮川橋）

本橋は、長径間橋梁への適用を目指した合理化トラス橋で、ラチス構造（ダブルワーレン）を採用して格間長を短くし、主構造に H 形鋼を採用しています。床組構造は PC 床版を採用することで省略し、また合成トラスとすることで鋼重の減少と全体剛性のアップを図っています。中央径間の 4 橋脚で上部工トラスと下部工橋脚を剛結して耐震性向上を図るとともに、トラベラークレーンによる張出し架設を可能としています。

2．CFT 部材を使用した長大橋の架設技術報告 - 新西海橋の施工

新西海橋は、新設道路橋としては国内で初めてのコンクリート充填鋼管（CFT；Concrete Filled Tube）アーチ橋で、充填作業の実施に先だって、様々な検討、試験を行いました。また、橋体の架設に際しては、国内最大規模のケーブルクレーン設備を使用しました。これらの内容を含め、本橋の製作・架設の状況について報告します。

3．保全工事の施工事例 - トラス橋の支承取替え工事

橋梁構造物の耐震補強に伴う支承取替え工事では、プレートガーダー橋の施工実績は多く、工法も確立されています。今後はトラス橋やアーチ橋などの大型橋梁、あるいは長大トラス橋や斜張橋などの長大橋梁の耐震補強工事が残されており、大反力の支承取替え工事に対応していく必要があります。今回の発表はトラス橋の支承取替え工事に着目し、施工実績から代表的な工法について、概要、施工手順、留意点など紹介します。

4．海外工事報告 - カルキネス橋梁(米国：吊橋)の工事概要と紛争解決手法

本橋は、中央支間 728m、全長 1055m の 3 径間連続吊橋で、アメリカでは約 30 年ぶりの長大吊橋です。補剛桁は、日本にて大ブロックに組み立てられ、現地に海上輸送されました。一般に、米国の契約では、工事中に紛争が生じることを前提に、その解決を助ける条項が準備されています。今回、本工事契約における紛争解決のための条項と、その処理方法を中心に報告します。